KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

特別
~10
7253

遺意録　二巻

趙簽事未一葉弘賢之書写

不忍文庫　殘欠本一冊

好古收

遺意録巻二

小倉　西田真養録

○松岡ニテ顔暉ノ鉄拐ヲ見ル元来西本願寺ノ付物ナリ所謂本願寺切ノ濱疹ナリ直金八百両ト云京摂間掛物ニテ此右ニ出ルモノナシソ

○紅葉屋ニテ福王善十郎カ角田川ト中芝居ノ梅玉カ石川五右衛門関三カ俊寛瑞寛カ権八富十郎カ於安渾ニテ絶妙ナリ

○道光十年庚寅上木清ノ張崇懐カ銭志新編巻十九曰天保元年三月ヨリ今六年前　稲同開珠和同開珠神

功開弥神功開宝慶長通宝寛永通宝延喜通
宝長徳通宝久安通宝正元通宝トアリ始ニ
日本トアリ銭ノ形表裏共ニしんス又サ尾ニ無シ
古銭トハ云フモノニ大治通宝宝永通宝仙臺通宝
此銭轉郭俱帯方活鉄銭トアリ我邦ノ銭譜ノ類ニ長徳久安
正元大治等見ユス西土ニハアルナルヲシ彼土ノ銭ノ
ヲハ此書ニテ尽ク天保二年辛卯ニ穂井田忠友
トヽ云フ人中外銭史二冊ヲ著ス是ニテ本朝ノ
銭ノヲハ悉リ詳ナリ
○校園一炉蔵亡羊東庠大雅等渾天精
緻ナリ鐘乳石ト云フモ蔵スル上ノ珍玩而
洋産ノ所ノ物ト云全體自然銅ニテ夫ニ
黄金水貝和合石孔雀石ヲ生ス地中ノ至宝
鐘テ秀ヲ出ス實ニ奉世ノ珍ナリ此時吉光
ノ短刀ヲ観ルベキハ徳業ノ作ナリ又後藤ノ
代ヽ祐乗ヲ当代ノ人ナリノ山柄ヲ蔵ス
○九月十三日文思安輔ト共ニ住吉ノ舞楽ヲ
見ル一カ歳楽延喜楽桃李花登天楽天
人楽長慶子陵王納曽利還城楽ナリ
天王寺ノ伶人ナリ社頭ノ松ノ間ヨリ月氷ノ

如ク世生ノ筆大又盃ノ如シ觀ル者堵ノ知シ

○廿六日文思及事產上ト姬古曾社ノ神宝カ
ノ二所謂灵蹤ノ誌ヲ見レ文祿慶長ノ比ノ
水帳アリ又頼光ノ名アル古文書アリト雖
信シガタシコノ灵蹤ノ誌ノ中竹離嶌カ摂津
名所図会ニ出セシ時ハ全完ノ物ナリシハ銘文
モ完ク又裏ノ文字ヲモ存セリ今ハ表ノ方ノ
隅々闕損シテ文字難讀裏面ハ渾ケ剝
落シテ古ヲ存セス此考

○書林ヨリ珍書數部見タリシカ其内コトニ
ヨキモノハ大内裡図考ナリ全部廿冊引用ノ
書目日本史ノ知シ堂上ノ裏松固禪所ノ
作ナリ又金釈トイフモノ是モ僧紳家ノ作
ニシテ稽按ナリ玉藻叢説ハ毎至テ確論
ニテ縣居翁ヲ駁セラレタルナド的当ノ説ナリカ
ルモノイクラモ有ヘケレトモ上木ノ沙汰ナシハ世ニ
知ル人ナシ此人ヲハ当府ノ一條彈閣トモイフ
ヘシコノ叢説ハ藏ト云ス

○霍満寺ノ鐘ハ名所図会ニ出タレトモ至テ疎
畧ナリ南蹊ノ北面頂談ハヨク弁ニタリサ

シに大和屋ノ一アラマシナリ此頃大阪人ヨリ大和
屋ノ一ヲ奪ク問クニ上田三郎左衛門トテ今ノ主人
ヨリ五六代以前ハ至テ豪富ニテ毛利家ノ
徳意ナリ先年霍満寺一宇ヲ建立セシニ
毛利家ヨリカノ鐘ヲ賜フト云今ハ家衰
テ僅ニ名ヲ存スノミ此家ノ別業北新地ニ
アリ旧来ノ石燈炉又古瓦ナドアリ今ハ高
木氏ノ有トナル霍満寺ノ鐘先年モ見
タシに又行テ摺寺ニ一幅ヲナス況ハソレニ
記シヌスニノ鐘今世上ノ古物ノ魁トオモヒシ

ニ三井寺ニ中微妙寺ノ鐘ハ大宇四年ナリ
是又珍怪ニ属シ国史ヲ以テ之ヲ推スニ名
茶天皇元年壬子ニアタリ今天保六年ニ来
ニ至テ千四百廿四年ナリ大宇ノ年号ハ北夢
瑣言ノ建タルニテ東晋ノ安帝義熙年中ナリ
霍満寺ハ大宇十年ナレハ元茅ノ七年戊午
ニアタリ千四百十八年無則此両鐘古物ノ
最上ナシに元来鮑来ノモノニテ此地ニテ造ル物ニ
非サレハ又趣ヲトナリ此地ニテ出来キシ物ノ文
字年紀ヲ記シタルハ只明ニモイヘル事歟徒

○陶ミシテ祥瑞ヲ作リ

ノ上ニタツ物ナシ誌中ニ三年甲寅トアルハ則
推古天皇ノ二年ナリ。此物ヨリ又下リテ同
帝ノ十三年乙丑ノ物アリ書紀推古記二十二
年始造銅繡丈六佛像各一軀乃命鞍作
鳥为造佛之工是時高麗国大興王聞日
本国天皇造佛像貢上黄金三百兩云々
此佛同十四年ニ元興寺ノ金堂ニ入レラレシト
書紀ニアレハ此像ヲ金類ノ古物ノ魁首ト
ハスヘキ也上ニ　法隆寺ノ藥師釈迦光背
ノ銘トテ専ラ賞感スレトコノ元興寺ノ仏
ノ千沙佛ハ元者ナシ元興寺ハ今ノ二歴史トシ
テ殊ニ彼層塔ハ当時ノ物ヨシイフニ仏ノ
向ニヲハ不審ナリ近頃ノ著作茅原定ノ
茅窗漫録ニ此仏ノ出タリ大和国高市
郡飛鳥寺共銘云推古天皇十三年歲次乙丑
四月八日戊辰以銅貳万三千貳百斤金七百五
十九兩敬造釈迦丈六像銅繡二軀并狹侍
等トアリコノ銘文何ノ書ニ出タルヤイブカシ
推古天皇ト其時ニ申スヘキ理ナシ又案ズ号
ハ後下リテ渓海ニ船ニ作リシ二十年山紀閑

ニモ亦シタリ寶ニ推古天皇ト彫リ付タフハ
後世ノ追銘ナルヘシ己亥銘ノ誌ニハ等由良
宮治天下天皇二年甲寅トアルガ如キ確證
ナリ（等由良ハ史傳トテ推古天皇ノ宮所ナリ）抑古ヘ法興寺トイヘルモ飛
鳥寺トイヘルモ一ツ寺ニテ今ノ元興寺ナリユヘ
事ハ大和名所図会ニ委シ今元興寺ニ古キ仏
像アリトイヘハ其光背ヲ見ルキ一ナリサレド
田祿ニ在堂ハヤケシヨシナレハ其時燒爛セシ
モノカ博古ノ人ニヨキ研究スヘキ一ナリサテコノ
仏ノイハイカニモ不審ナレハ姑置キ同シ天皇

ノ十五年丁卯ナル法隆寺藥師光背ノ銘ヲ
リ出シキ金類ノ才一トイフヘキユヘノ時未タ年
号ナケレハ徒ニ支干ヲ以テ記シタリ年号イ
ニキテ後ノ年号ヲヨヲ歳無ト記シタルハ大和葛
下郡穴虫村掘地所ノ威奈那ノ墓誌ニ慶
雲四年歳在丁未冬十月廿二日トアルヲ始トス
石類ニテハ下野那須国造ノ碑ニ朱鳥四年
トアル是ヲ始トス文書ニテハ大寶ノ勅書ニ
大寶三年七月二十日トアルヲ始トシ（集古臣伯ニ出タリ）器
械ニテハ東大寺所藏鴨毛屏風ニ天平宝

字三年十月トアルヲ始トス何レモ千歳ノ物
ニシテ希世ノ珍ナラザルナシ

○古有テ今無キ物ハ伊豫道後湯碑ナリ
釈紀本書ニ欠アリテ誤見ニヤ法興六年トアルカ如シ
好古小録ニ曰ク文云法興元年十月歳在丙
辰云々今傳ラズ惜ヘシ釈日本紀所引
伊豫国風土記ノ文ヲ以テ出セリナ甲斐ノ北酒
隈侯ニ出タリ又法無草ニ出タル天
王寺ノ鐘朝野群載ナル津国摂持寺
ノ鐘等ナリ外ニアリヘシ次ニ之ヲ録

○近時嗜古大ニ行ハル且人ヲイハヽ先東屋先
生ニ藤貞幹北條鉦桑名先侯柱川中良表
川世黄本居宣甲斐菴等ナリ又当時世ニ
アル人ニテハ屋代翁平田翁塙忠寛兄野
里梅園子松園東堂等余力知ル所ナリ此
外ニモ有ヘケレトモ嗜古ニツキテ著述アラサレハ
其人ノ執ル又研究ノ精キヲ不知因ニ彼先
哲達ノ著ス所ノ書ヲ以テ嗜古全書ト名
フク他日ニ書キ書イテキナバ又輔録ス
集古十種 桑名侯
好古小録 藤井貞幹
集古図 同

狩谷高田二子ニ名ナリ

集古法帖 北條鐵
浪華帖 高川世貞
求古随筆
古物類從 西田直養 伊呂波三ヲ集
古物遺文 同 延喜以上ノ文ヲ前編ニ
古物叢話 同
右ニノ十五部当时見集ニノ嗜古家ニ名ク
他日補ヘシ
○余輩所ノ古物叢話等ノ稿ヲ不脱其侍
近世諸家ノ随筆中ニアル嗜古ニ中ルヲ

桂林漫録 桂川中良
梅園奇賞 野里
松園雅賞 百武兼輔
古物年表 同 英平吉方 陰右年表名アリ表ニ日ヲ作ル
古物千年 同 千年堂ノ物ノ

ヲ摸集シテ一本トナシ名ケテ今昔之異形
ノ所ノ書目ヲ記ス
年山紀聞、
蓋簪録、
玉勝間
源氏紀行
同治筆、
北岳拾遺
芳窗漫録、
名嶌随筆、
兼葭抄、
輶軒小録
織錦随筆
閑田耕筆、
拚菴随筆、
和漢録叢
杉長葉
中外錢史

脆餘小錄下

擁書漫筆、

此十八部ヲ集テ前編ト又他日數部ノ倫
華ヲ採ルヲ以テ後編ヲ作ラントス、

○十月二百枚國東堂ト共ニ天王寺三年ニ院ノ
所藏ノ伊奈知墓誌ヲ見ル其銘文ハ早ケナ
種及ト錄又亦多ク墨本アレハ不記此三書
共ニ國ヲ出サズ國ヲ淡日ニ未セント欲スカノ
百武安隆ガ校國雅賞ニ出スコノ雅賞イ
其目錄下ニ出ス律國一國ノ古物ヲ出ス年号
ナキモノト紙徴アルモノハ出スユノ書廿一冊

又ハ東堂ヤリ他日廿三行ハ乃チ方侍
○刻器著由私記ト云モノ市世肅ノ著ス所ト云
東堂存ノ主人ニ其書ノ有ヲ問ヒニ存有ラズ
ト云辭書一冊ニハ出タレハ世ニナキヲ以有カラズ
○崇福寺ノ鐘古色アリ共年行テ見ニ
古ノ銘及年号ヲハ前テ近江ノ年号アリ(近)
日東堂行テカノ前タル痕ヲ委シク見テ云
年号ノ彷彿ニモアラハ世ノ宝ヲ以ト可謂考ニ
拾特ヲ寺ノ鐘ノ一朝野群載ニ其銘アリ寺
名所國名ハ今有ラズトアリ思フニハ此鐘カ

今度須磨寺ノ鐘ヲ見レ銘ハ十條ニ出ル

賣僧旅人ヲ誣スル計知クアレモ年号ノ所ハ刻リカヘ考レ此鐘ニノミ天宝ト云ヲ義経ノ陣鐘トイヘレハ第五ノ年号ヲ祢スルモノ多ク此タクヒナシ

号アリシヲ史ニテハ陣鐘ノ合ハセハ前ニ
古ヘニ劫ロヲ見ルニ真治五年トアリ真剣色
並同ニ恐クハ同ノ物カ其外山陽道中ノ
古蹟等ノ事カ山陽筆記ニアレハヲニハ
イハズ

○一日安輔ヲ訪ヒ所徹ノ笠ヲ見レ文亨三年
春四月造四畢ト云ヘリ刀剣ヲ彫リカヘリ

元保元年ニ至テ五百十三年ノ物ナリイ愛
○十月首助ヲ郡勝蔵中之勇ト同ク扇ヲ
ヲ浮ケ面ヲ彫ス品月十一面ニ及フ手ヲ彫ル
陽年ニ至リカノ鐘ヲ鑄ル此ヲモ孤書出ス
因テ不祀鐘下ニテ三人等ヲ吹クニノ鐘自
ヲ鳴ル故調黄鐘調ノ鐘ナリ他ノ何ヲニテハ
響カズ

○郡事ノ家看流ニ戒ニ公ルヲアリ愛ニ一古物ア
リ其銘其年号ニカヘト筆記ニ先モノ
ヲ見レハ真古物ヲ見ルヲ面白シサル

ヲ又其物ヲ摺リシテ翻刻シテ墨本トシ
タラシヲ見シハ徒ニ事実ヲ記シタラシヨリハ
其海ノミユシハ別テ面白シ又真模写シタラ
シヨリハ寸真ニ其物ヲウツリタルハ勝ニヨシ其ス
リタラシヨリハ其物ヲ自ラ見テ自ラ摺
リタルハ別テ善シ其白ラ摺リタルヨリハ
其物ヲ書物トスルハ又タ善シ能ク穴カ
チニ只我物トセムトスルハ至テ悪シタリヘハ
石碑墓誌ノ属ハ畢竟ハ後世ニ其所ヲ
シラシメムトスルヨリノナルヲ主ヲ摺テ是ヲ

以上ノ拓本トスルハ本意ニ違ヒタリ若
古人ノ墓誌ノ属ヲハ直ニ其ノシ所ニ埋ム
ヘシサレハ今年ニ属シ古墳旧冢ヲ
アハキ墓誌等ヲ得ル時則其地ニ石碑ヲ
建テ世上ニ表スルヨリハセサリシナレハヤカテ
地中ニ埋ナストモ其近辺ノ古刹佛寺
ニ納ナ所謂山中物トシテ永ク世ニ傳フルニ
ワ本意ナラメ其ニ倍テ也ケテ路
トスルヲナカレ随ク飾有トナリテモヨキ
都鄙ノ古物アリ其物ヲハ千金ヲ可抛

○式人会ニ忠告ノ人ヲ告リ其深切ヲ感シテ
雖彼行のあしのあとのあるとも
海原をのあとのあるとも
トイヘリケレハ其人又
ひとをの海きたのれもいまなくに
ふるの浦のあとのうみ
トカヘシヌコノ贈答ニ祝スモノハ毎日二ノ冊子
ヲ拝閲スレハ見ルタヒニ我身ノ戒トモナルヘシトテ
ノコトナリ三善清行想像スヘシ
○前ニ記ス於国雅賞ノ目録ヲ記スコヽ書ハ

津国一国ノ古物ヲ考ノ輔録ノ意ナリ
集古年録著ス出ルモノヲモ又一ツニ集ム廿七品
大黒屋善蔵所蔵永正七年順礼札
天満屋喜加兵衛別荘之瓦可省
吉田作兵衛別荘文永三年鉄燈籠大ノ
吉田吉平治所蔵大政官瓦
宝雲満寺大平十年鐘
升屋某所蔵宝徳三年半鐘
同蔵天文五年水鉢
藤屋宗補所蔵唐櫃。慶永廿六年

泰三折所蔵橘笛 可者
比叡古鐘社蔵 吳鐘銘
同蔵文禄二年 慶長十二年水帳
百武安輔所蔵 元享三年笠
同蔵 長享二年 上牒
吾彦中院 橘正成旗 可者
吉田屋所蔵 銅燈籠 同
極楽寺 石燈籠 寛武二年
拝殿手水鉢 不者
須磨寺 鐘 同

同寺 鐘口 貞応二年
浮瀬大重 不者
菊花院 元豊二年 硯
野間村 解 暦応四年 応力元年
高木五兵衛所蔵 中磨色紙
多田院 頼光寛弘元年 所作旗
同 鴻橋寺 観寛元二年 鐘
甘宮 彫寺 康安二年 石碑
国野新宮所蔵 赤松則祐旗 可者
西宮六社寺文永十一年 鐘

勝尾寺永享三年鐘
貞享元年定字六年
兵庫　延福寺。鐘。嘉永六年
芦屋　豊前　墓誌法華三年
四天王寺所蔵仏不高綱治承三年歟
同布施　元亨三年歟
同真因親王　了省
同貞保親王歟
同重盛　〃
同行盛歟　〃

同清盛　〃
同泰経　〃
同真平親王歟　〃
同真元親王　〃
同清政歟　〃
同豆助重範歟　〃
同備後高徳歟　〃
摂津　延喜十二年鐘　今不存
天王寺中ノ院所蔵威奈ノ墓誌
右ノ前編ニ又後編ニ出ル

前ニモイヘル如ク佳古十種ノ内ニ法帖其
外浪華帖梅園奇賞等ノ書ニ出テタル因
テ今茲愚考ヲ起シ抑此物世上ニ傳ルモノハ
全ク社籠嶋ノ賜ヒシ方ノ摂津名所図会
ニ全図ヲ出シ裏ノ文字モ記セリ今ハ表ノ方ハ
中央ノ處ハ文字見エズ四隅ハ彫ノ剛拙ニ
テ不可観裏ハ彫巧ニテ可見ト雖
テナシ図会ハ僅ニ寛政六年甲寅ニ成リ
ニモノイルニ其時ハ社物全クナカリシヲ四
十年余リニテ今ハ其形ヲ変ズ若社籠嶋

ノ図会ニ載セタルニカハ推古天皇二年ノ文
章世ニ傳ヘタヘカラズサテ此物ハ陶ニテ今
ノ敷瓦ト云モノハコトシ色ヒビ色ニテ性ハモロシ
横七寸七分ニ厚サ一寸四分上ノ
方ニハ布目アリ裏ハ剛損ス図会ニ曰ク此物往
年山崎村ノ乾ノ方御殿石ヲ掘出ス農家
ノ神主藤左衛門ノ家ニ伝ヘシ山崎村ノ大藤左衛門
ヲ求テ姫路藩ノ神主ヲ以テ金文方知
世寸由良宮治天下　天皇二年甲寅藏
次夏四月丁亥　国政君命補高津之

宮白王居荒廃地於石花安関西丘白鴨
御池上大小橋山地以石墻畢之者即永
保天下聖跡安固萬世雲路故也
奉行左大史掃津上宮臣　武夫麻呂
埴土度　日東
東ノ方左ノ如ク図ニ圓形アリ其中ニ仕入ル
位策之内寸
圓形ノ外ハ布目ノ如ニナリ又畧コノ澤ヲアリ
芋曲良宮（ミルノノセキ飼甘津橋ノ東二町ニアリ）推古帝ナリ　国政君（聖徳太子カ）　石花関
白鴨　泝池（時ニ小池ノ一名ナリ）　大小橋山（今ノ

（飼サニ町ニアタル）埴土度（ツチクリト ヨム）
図会ニ年カル事ハ右ノ如シイカニモ国政君ハ太
子ノ一ナリヘシ書紀推古天皇元年ニ厩戸皇
子ヲ皇太子トシ仍録摂政以万機委焉ト
アリテコノ物ノイニキシハ則甲寅二年ナレハ前
年ニ万機ヲ委摂シ天皇ノ事ヲ行ハシハ国政
君トモ称スヘキ事ナリ図会ニ埴土度ヲ只ツ
チクリト讀ムヤリアルハ誤ナリ是ハ和名鈔ニ
埴粘石曰土黄而細密曰埴和名波尓トアリ
又書紀神代紀ニ遂以埴土作舟トモ出ニ其外

埴土ヲハ波尓トコムイイクラモアリテ土クリト云モノト
ハ異ナリ埴度トハコヲ陶器ヲ造リシ人ノイヲイ
フナリヘシ土師ト云ト同シイノ如シ度字洪濛
字典等ニモ見ユス恐ラクハ度字ノ書損カ度
字トミテ埴土度トイフヿ不審ナリ度字師字
ノ意アラハ斯様ト出師ナルヘシ日東トアルハコノ
物ヲ造リシ人ノ名ナルヘシ上古ノ人ノ名ノ如ケラデ
イブカシキ様ナレトモ書紀崇峻天皇元年ニ
百済ヨリ寺工鑪盤博士ナド来レル史ニ尾
博士麻奈父奴陽貴文陵貴文昔麻帝

弥ト云人アリテ皆百済人ナリ然レハ字音ニ
唱フモノナレハ日東モヤカテ埴土イニカシハ百済
ヨリ帰化セシ人ナルヘシコノ崇峻天皇ハ推古
天皇ノ前朝ニテ此時尾博士ナト来レルヲオモ
ヘハ其尾ノ属オモミロキ物ト才モホシカク造
ラシメ土ヒシモノナルヘシ敏達天皇十二年ニ日羅
ト云僧百済ヨリ来リシトモアリテ日字モ名
ニツクルイ例證アリ故ニコノ日東ト云フ二字ハ人ノ
名ニ決スト度字ノイ考ヘエズ前ニモイヘル
裏面ノ文字ニツキ考ルニ仏葉之内未トアレハ

元来コノ物十枚造ラレテ皇居ノ跡ニハ蔵ヘ置ト
石墻ヲタヽミ宮殿ノ跡ヲハ著シクシテ其外ノ
築地内裏ノ限リニコノ陰器ヲ埋メラ
レシモノナルベシ土ツノ内キトアレハ本アルヲ
必セリシカレハ五葉ニシテ又本ヲ以上十枚
ナルベシ銘文彫テコノ物ト同シカルヘクオモフ
時アリテ又殘リ九枚世ニ出ナハ其ノ時ニコノ余
カ考証ヲアタルヘシ今ハ後ニ附會トリシヘキ
右大史トハサグハシヒ也弁官ノ史ニテ大政官事
ノミヲツカ故ニ三ツニ分テ執リ行フ文書ノ

書寫ヲスル官ナリ右大史ノ官ニテ摂津ノ
上官ヲ兼シ人ナルベシ此官名茅ノ手ヲ委ク
考得ス武夫庭ヲトイフ人正史實録ニモ
ナマテ世ニ名アル人ニテモ無レハ書紀ニモ出スナル
ヘシ是等ノ事ハ東都ナル屋代子田塙ノ二家
ニ伝ヲコヘレハ他日弁別スベシサテ仁徳天皇
ノ元年ニコノ地ニ都ヲ建ラレテ則書紀ニ
元年都于難波曰高津宮トアリコノ推
古天皇二年甲寅ニ至リテ年紀二百八十
二年トナル僅ノ歳月ナレハ当時其跡サ

タカナラザレバ石墻ヲ以テ之ヲ墨ス其所ナシ
シノ国フノ意トシテ古昔禁庭宮闕ノ魏然
タラテルヲ想コノ銘中ニ石カキノイアリテ
今絶テ其形ナキハ慶長ノ比豊臣関城郭
修営ノ時其石ヲ取リテ城壁ニ用ヒラレシナルベシ
遠ク他国ヨリモ大石ヲヒカレシナレハ僅ノ近辺ナ
レハ一番ニ形ラレシイヤ宣ナリコノ印厳石イ
コタ番ニク見ズ近日於国東堂ノ好事
ト共ニ見ニ再ト考事ヲ了起石花岡ノ
白鴨市池大小橋山等ノ国会ノ伝ノコト

ク
ナルヘケレトモ又コヲ地ヲ踏ミ仁徳天皇ノ
聖跡委シク可尋今日本国中古物ノ
ホシト雖年紀文字ヨロカラズ確然タル物ノ
難有トイヘキハ此美歌詰ナリ因テ一枚摺ニ
シテ君侯ヲ初メ世ノ好ノ家ニ示サレト欲ス
今天保六年乙未ニ至リテ千二百四十二年
トナル国会ハ君侯発輝ト名ツケタレトモ
故ニ嘉祥ト号ス姫ト号ハ仁徳ノ御事ナリ
大和名所図会ニ東大寺ノ洪鐘ノ銘ヲ記シ朝野
群載ニ天平四年ニ鋳ルヲ記シアリ今有リヤ
無ヤ中世上ニ東大寺鐘銘トイフ一ナケレハ今ニ

シルスサレ氏 銘文ハ十七ヒハ十種等ニノセラレタリカ
海ナリハシ石ノ碑ヲヨマツ世ニイフ薬師寺ノ
塔樑銘ハ舎人親王ノ書 佛足石ノ歌ノ書
ハ光明后宮南圓堂銅灰塔銘ハ匡房
道隆等鐘銘ハ道風ナトイフ 顕然タル
證憑ヒヲ引クキモノナリ 唐ニサモアルヘケレ共
微ナキモノハ殘ラス 神護寺ノ鐘長
谷寺ノ鐘起等ノ如キハ格別ナリ又多
賀城碑ノ等者ノ伝ヲアレ共 無銘ノイハ
希ニカテズ 益田池碑ノイ高取城ノ石垣

ニ似キユヘシトイフ 一モ不審ナリ高取山ハ益
田ヨリハ全往ノ里数ノ上イカニ無智無時ノ
者ナリトモ空海真陸ノ碑ヲ寺碑ニ石カキト
スヘキ理ナシ 全ク當字一字ヲスストイヘハ虚説
ナラスカイカニモイフカシ 此碑モ前ニイフ
古有テ全ク無シノ部ニイルヘキモノナリ 法隆
寺薬師光背文釈迦光背ノ等者モ
ラマホシク又前ニイフ元興寺ノ佛背銘イ
菅崎扁額招提寺扁額天王寺扁額等只
口碑ノ存スルノミ 他日明證ヲ世ニ出ス人ヒ又ハ子

ノ鴟尾石記字治斷碑 宇智川廣崖碑
十種ニ白鳳十年和銅二年ニ記銘ホノ事
年号支干事實ヲ洩タルモノナリ
東大寺燈臺銘八十種ニ出タレ共銘文ニ
ニテ考モノナシ文字古雅ナリ後考
ヲマツ不審ナル八大和名所圖會興
福寺ノモノニ南圓堂ノ一ハ見レ共銘
基ニ〇ナク国モナシ又東大寺ノ金物
炉ヲハ図モアレ共銘ハ別紀ニ書ト
アリテ全テ脱ナリ文八十極タリ

十種ニ西大寺塔銘ト云慶安三年庚寅
九月廿日ノ物出タリ寛政九年丁巳ニ此書
ナリタレハ年次ヲ推ニ僅ニ百四十八年ノ物ニ
此銘ヲ見ルニ
此塔草創者南都西大寺開山興正菩
薩爲宇治橋再興供養所建立之塔
也□□□皆慶長龍集丙申孟秋為大
地震九輪忽零落今也爲有且塔上四重
頃辰已之間雖經幾星霜終無修補者
乎爲考然再建於興聖寺之□新造九

輪番正石塔之頂江證其靈祕山背国住
城主従四位信濃守大江姓永井氏商政慶
安三年庚寅九月会
如此ニヨリタリサルヲ十種ノ中ニ入タルハ此拠ヲ
ル人ノ杜撰ナリ 寛安三年 慶安六年ト
アレハ慶雲五年ト見タルナルベシ 然レハ慶雲
五年ハ則和銅六年戊申ニテ支干不合又タトヘ
慶雲ト誤ルトモ前ニ慶長龍集丙申トイ
フ文字ハ解明ナレハ必ヤヘキヨカリ百五十年
ニモ及ラス物ヲ集古ト云書中ニ載ラレタル

白石ノ考アリ
又塩亭ノ考アリ
世ヲノ考

ハ遺憾ナキニシモアラズ 摺井イハ容易ナラ
サルモノナリ 西山公ノ郡頂国造碑ヲ復案
ト云人ニ命セラレテ折ムタリシモ朱鳥四年
ヲ承昌元年ト誤ルトアリ 貞観ニ信サリトイフ
千種ニハコノ謀又ノ年号ノ二字ヲハ省カレ
タリ 此外ハ東産ニ早ク論アリテイカニモ不
審ナレ 余ハ貞観ノ信ニ従ヒ朱鳥四年ト
決着ス サテコノ永井尚政ト傳ハ即直勝ノ男
ニテ山城淀ノ城主ナリ信濃守ト称ス従四位トア
ルハ四品ナレハ文ニヲ四位ト書キシモノナルベシ此外

寺ノ僧録年中行事ニハ文事ヲ以テ安ナルヲアリ此家斧高槻ヲ領サレタレハ其
議中ノ如事ノ人ニ不同
世ニ天王寺トヲヒテ四ノ文字ヲ省クハアシ、何レ禅
寺トカイフ禅字トハ大ニ異ナリ太子守屋ト合戦ノ
時ニ白膠木ヲ割トリ四天王ノ像ヲ作リ頂髻ニ才
キ誓言ヲタテラレ軍ニ勝タマハヽ護世四王ノ為ニ
寺塔ヲ立ントチカヒ給ヒ推古天皇ノ元年始造
四天王寺於難波荒陵ト云フ書紀ニ出ツレカレハ
四字コソ服字ナレ四王寺トハイフトモ四ヲ省テ天

王寺トイフ理ナシ推古紀三十一年ニ新羅ヨ
リ貢上シタル舎利金塔観頂幡等皆納テ
四天王寺トアレヽ今ノ舎利ハ別ニ如ヘシ
其程ノ物又他ニ(カラス)一見ヲ出シキモノ
前ニ古物遺文ト云モノヽ書目ヲ出ス他出ニ
金石遺文アレハ此ニモ才モ才ニセリ其目次左
ノ如シ ○金(十三) ○石(九) 口銘(十九) 図一 此書名千載遺文ト改ムコノ目録ニヨリ
一摂津比賀古曽社写真縮誌 雅光貞
○一大和法隆寺鑿師光背銘 十種
○一同寺釈迦光背銘 四

一河内松岳山所出船氏墓誌 小錄
一下野那須国造碑 十種
一河内形浦山碑 少錄
一大和葛城寺塔樓銘 十種
一同穴虫村所出大村墓誌 同
一同八瀧村所出文氏墓誌 水古通筆
一上野多胡郡碑 十種
一大和栗原寺塔樓銘 同
一上野下賀茂碑 少錄
一同山名村碑 十種

一近江甲賀寺佛種跋 奇賞
一阿蘇經跋 浪華帖
一那先比丘經跋 同
一大明陵偏 同
一長者經跋 同
一民部省牒 同
一美和嘉祥田寿文 同
一多度寺牒 同
一天平勝宝元年田寿文 奇賞
一伊勢大神宮牒 同
一多賀城碑 十種
一室亀七年田寿文 奇賞
一山城竹田寿文
一年号墓誌

一 山城石田寺定戒牒 原筆紙

一 遣勢伊都内親王願文 日

一 傳教大師求法目録 日

一 菅公長谷寺願経 日

一 大和東大寺聖武帝勅書 十種

一 同夢師寺仏足石碑 日

一 同東大寺四聖勝書 法帖

一 同西大寺称徳天皇宸翰 本古物帳

一 同興福寺南圓堂釣燈籠銘 十種

一 同益田池碑 同

一 近江三井寺智證大師書 寄贈

一 山城神護寺鐘 十種

一 摂津住吉寺鐘 朝野群載

一 山城道隆寺鐘 十種

一 大和東大寺燈籠銘 同

一 宇治新碑 帝王編年録

以上四十五幅ヨリ本書ニハ金之部石之部二部ニ分チ
紙之部四幅ニ分ツ本書ハ稿ヲ不脱其外手本楊
貴妃楷書伊勢部等ハ御書院妙全寺ノ録示
延喜式巻ノ物数千字ト銘ノ文字三千六百

ト云フニテ十分ニハ不承候妙寺霍山寺等ニ有ハ
ノ物ト相分ル事ヲ聞ヲシ八郎ヲ[illegible]
十月十四日移園東堂ト同ノ事ニ[illegible]
コキカケニ野村香雪ヲ訪ヒ所藏ノ古物ヲ
見ル今日八兼テノ約アレハ早朝ニテ出ル見ル
一金剛山根地所得金銅塔 昨日仏供ニ云
一鎧唐櫃一 改家所藏云 五百年上ノ物ヲ
一薄鏡二枚 唐鏡三枚
一薄皮 此物右百古色堪珍玩
一宋紹興二年所製香炉 有年号銘文
一四百年以上之鞍
一永平寺道元禅師所携端溪硯
一張瑞図肉筆十六幅
一法隆寺所蔵洲之梁図時之梁 有後後
一室町七年拓摺寺田帳
一慶徳院鉢盧舎那律箸 天平年中物
手人手ヲ経年 詳軽尼ナドトモ為ニ[illegible]
共ノ方董所有ノ仏ノ全ク世間ノ子
三ヶ風新アリ 所得所蔵ハ経年官弓
汁[illegible]アリ 敗リ[illegible]奈ハ上品ノ物ナシ

一聖武皇帝御筆佛經殘片
一諸僧意那所奉贈鵝毛
一錢採西聖賢寺蹟図賛
一牛賛二顆牛腹塊二顆
一印度所発象塊
一唐長十二年所況針位切紙備前住新左衛門尉
一方寸鐘寺三帖五百葉書時文人墨主西
家名御手業大雅宣長上洛等也
一清人数人所贈答尺牘一帖（主人所製梧甘丙丁事
至洛ノ）（程赤城等主客九十
書今也世年有約）

一上古ノ釣器每所名
一賣茶翁所愛茶具
一布目社所有假面
一古鐘形妙法院寺厨子白玉子物古モノ箱
一印度所産ワンドルワレイス
一青鸞ノ羽毛
一鳳毛
一カラフト所産燧袋
一印度貝多羅葉梵字佛經
一日國所産安産御守

一播州右田寺経巻

一董其昌筆書扁額 華甲殿堂

一白鹿洞記明人所書云 林道軍傳来

一紹翁画賛山水一幅

一火山真蹟

一子昌真蹟

一龍牙化石及蛾眉

一神屋宗湛所使天竺書紀

一弘法大師真蹟弗経

一拂良寮所作炯菴

一和蘭銅版春画

一石鏃層存数枚

一海蛇貝

一只利時代所行花降銀

一陳昭高人物典故画帖

一奇石珍貝化石主数三箱 毎箱収数百

一宋元豊三年所造硯 出千十種

一猪木 此物宜備天覧

右ノ外書画帖類多ク添ナリト雖牧牽ガ不堪感ズ 墓修ノ者ハ 銅器書画 私記ト

イフ一尾アリ世書ノ自筆也伏見豊太閤時代
ノ城下図アリ　神君ノ御事相模平参河等ト云
フ数アリ石田ヲ始其時ノ大名ノ居館不可考
ルニ又藤吉郎殿ノ屋敷アリ渾ニ家ニ
テ町ハ三ツニテ狭シ屋敷モ今旗本ノ家程ナ
アレヘリ才モクル主人ニトウテ写カントス又神
代ノ玉ヲ蔵スル是ハ若見ル者ハ祟ル故秘
国ヲ伝フ百貫匣ヲ見ル至テ妙ナリ

○今日於ル高野ノ第師寺所安ノ佛一軀及
金環ヲ見ル佛ハ我ト有ナリ環ハ香雪ヨリ物ト
シテ又古銭数孔ヲ得渾ニテ載ノ物ニテ
本朝ノ所造ナリ此ニテ三ツ古銭不殘手ニ入
漢銭八五銖一文ノ所ノ佛ハ高サ三寸所ノモノナリ環ニ其三ツヲ写ハ誓ハ時ノ物ト

○一日於ル尾書西屋観會アリ一屋一宿ナリ
於園寺尾ト云ニ入ル七百幅ニ及フ其内ノ
コキモノ仁齊ノ懐紙定家短冊聖一国師
宣家ノ書雪舟雪舟信等ナリ多久八将野家
元孫同物壹上ノ懐紙ナリ英一蝶ノ多シ
守日本又多シ今方法ニハ尚信等信アリ
漢ノ大今日ノ高價云昔法印ノ懐紙一枚銀

五貫目常信三幅対ハ代金一本ニ
三貫目一蝶アタリコトニヨリ出来タルハ二貫
五六百目ノ間ナリ契沖ノ短冊十両トナル一
蝶ノ朝妻船自賛ナル直ナリ今ノ日名物
ナキヨシ居觀ノ体和歌酒ヲ飾ノ図ナリ
此ニ愉快ナル一状アリ図日此度ニテ本器ノ
命アリ一四茶碗少ク右神品ナリ数人ヲ
キワワ於園七百九十両ヲ去サント云ワ或人
千二百両三ヶ年ニ入レリ今日名書画絶品ナレ
ド三年度於園ニテ不年ナリ

○知同開祢　元明天皇和銅元年八月
萬年通宝　廃帝天平宝字四年二月
太平元宝銀銭　同時　世所無
開基勝宝金銭　月付　四大寺蔵一枚ノミ
神功開宝　称徳天皇天平神護元年九月
隆平永宝　桓武天皇延暦十五年十月
富寿神宝　嵯峨天皇弘仁九年十月
承和昌宝　仁明天皇承和二年二月
長年大宝　同天皇嘉祥元年九月
饒益神宝　清和天皇貞観元年閏

貞観永宝　同貞観十二年ニ鋳
寛平大宝　寛平多天皇寛平二年廿月
延喜通宝　醍醐天皇延喜七年十月
乾元重宝　村上天皇天徳二年三月
乾坤通宝　後醍醐天皇建武元年二月此
銭行ヲ世手事実歟
右和銅元年ヨリ建武元年マテ錫銭凡
十五孔ニカルニ大平八世ニナキ所開基ハ
西大寺ニ只一孔彰伸ハ名アリテ実ナシ
今世上アルモノハ十二銭ノミユノ外不殊

白雉珍宝ハ
モノ世ニアリ国史
ニミエ如何ナル物
ニヤ

所蔵ヤリ抑文字アルハ和銅ヨリユノカクナレ此
頃宗ノ御時ニ銀銭天武ノ時ニ銅銭アリ
ヲ共ニ文字ナシ銭者長徳久安正元大
治ノ四銭アレ今不傳乾元重宝ヨリ後
六百二年年自ニ天正通宝ヲ豊公天正十五
年ニ鋳ラル史ヨリ文禄通宝慶長通
宝文和通宝寛永通宝貞享通宝銀
代通宝元禄通宝十銭通宝元禄徳
宝元禄開珍享保通宝四書銭文化慶
安通宝仙臺通宝伊達十代綱村ノ時ニ　天保通宝コノ

六年ニ至テ十月十五日ニ至レル上顕宗ノ銘錢
ヨリコノ天保通宝ニ至リ通計三十七錢
十リ今世上ニアル物ハコノ内サハ孔ナリ国ニ
イフ此度ノ鉄文ハ輪池ノ翁ノ書ナリ世ニ
イフ萬年。神功ハ上品備公冨寿ハ弘法義和
ハ清公饒益ハ雄健貞観ハ氏宗寛平
ハ宇多(光孝公)延喜ハ醍醐清和乾元ハ惟
之天正文禄ハ後陽成ノ世慶長ハ後陽成ノ世
元和ハ後水尾ノ世寛永ハ長慶ノ帝ナド
イフ内ニ翁ノ名ヲ後世ニ遺サルヽハ文徳

(和同ハ奥養隆平ハ淳和長年ハ仁明年)

ヨノ厚ク孔ル余華ニイタリテモ喜ニタヘタリ
サレバ翁ノ書トイフヨハ事ノミウダ呂ワノ
奉品貴法ヲ敬テ翁トシテ論ズルナリ近
日翁ニツヒテ実否ヲ問カンヤ
○十月十六日平安ト共ニ中ノ芝居ヲ見ル関ニカ
記内由良助廣寛方道具屋治七梅王カ重太郎
冨ナ郎カ於高其外ナル六歌大軍アリト雖モ
録スルニ不足
○香雪子ノ田舎ヨリ貴ス他日孔鈎ヒ大先其
文ヲ作ス紙性今著過ノ半紙ノ如ク大サ詩偶経ナリ

巻タル上ノ方ニ　招提寺　封

津高郡收稅　　申可請百姓等陸田直稻事

合肆伯伍拾束

十二月十日受伯拾肆束

漢ヲ古比麻呂八十束

漢ヲ大猪六十八束

三野臣薗生十七束　已上先奏

桉作千絁十三束

漢ヲ真長十六束

遺貳伯伍拾陸束

又前陸田直且諸所并遺臣進物仲

唯遺者既成正稅是以後日望將請

仍注事狀謹解

寶亀七年十月十日尾張祖跡

市

古物遺文ヲ收セントス

奈良一古寺ヨリ出ル所ノ物

薬師寺ニハオトルト雖古色アリ。圓形ニテ鏡

モノ往ヘ見ル如ナリ真面ノ如クナリ物ニ佛ヲ鋳付タルモノモ少ニハ云

ノ古仏ナリ下ニ云ヘルモノキヨウニンノナリ是カケ仏ト唱フモノナラン

傳聞ク武天皇ノ時ノ書ノ鏡ヲモ玉ヒシモノ

ナリト此物ハ古来称シ伝タリ湖州ノ文人筆ノ
○十月十八日東堂ニ関ク山寺禅寺ナル鐘ヲ見ル
カノ接待寺ノ鐘ニ比スレトモ遜ラスヤ
無銘ナレトモ千年ノ物ニ非ス四五百歳ノモノ
古ノ銘記ハヨノ制ニ決シテ不及若シ寺ノ
鐘ニ比スレハ相去ル天満宮ノ鐘
ノ別ニ在リ墻中ナル古瓦ヨリハ東大
寺ノ瓦アリ東大寺ト文字アリ是ハフルク
ヨリ二月至ハ形シ其外古瓦アリト雖ト
ケハ不記只園庭ノ廣キ假山池ノ砂樹

ノ中マ高キ所ニアリテ扁舟ニ乗リテモ
ラケ橋ヲ架シ大石ヲ畳ミ立タルサマ上中
是近井泉ノ趣ヲ見タリシカ此園池右ニ
出ルハナシ
○大槻玄澤ノ蘭畹播芳巻ニ貝多羅葉ニ
ヨ有リ種ノ種アリテ栴檀ナルヲ決セリ此ハ
職方外紀ニモ出タリサテ紀中ニ
京師泉涌寺及浪華薬師堂所蔵有
書梵書経文ハ葉其泉涌寺者則基業之
僧某入漢土所自創来也相傳釈迦以前

之梵文其蓮華殿堂有則得諸播州舟丈家
世所謂天竺德兵衛当時往来彼地方寓其
者也又有江都處士本多氏所藏者余皆親
見之均是羅国字也天台勸学院長更海上人
說摂州天王寺所藏貝葉有鐫梵文者字勢劣
雖与今凡僧所書大異又和州法隆寺所藏
亦同字又東都ノ田村氏中川氏伊勢ノ竹内氏
大槻氏モ所蔵ナレ共彫ニテ貝葉ノミニシテ文字
アル物ニ非ルヨシ伝タリ今茲今ノ蓮華殿堂
主人ト文ヲ結ヒ此紀中ニ出タル貝葉梵文

アルモノ一片ヲ板面ニ入ノ嵌ニテ得其包ミ
紙ニ蓮花堂ノ印アリテ殊ニ西ノ方ニ今海内
貝葉梵文アルモノヲ蔵ル京師ノ泉涌寺
浪華ノ蓮華殿堂四天王寺和州ノ法隆寺江
戸ノ富士本多氏ノ五ケ所ナレ共余亦加リテ
天下ニ二ケ所トナレリ堪去国ニテ貝多
羅葉倉ト呼ム因テ鈔蓮華家ヲシテ貝多羅精
舍愛玩圖記ノ九字ヲ印ニ彫リ石本模寫キニ
サントス此貝葉 記文一篇ヲ作レ下ニ出ス
十月十九日今蓮殿主人ノ東堂ニ来遊ス古ノ伝

[illegible]ノ雅[illegible]アリ乃翁遺風ナキニ
シテ此人此仁アナシ三世ニシテハ地ヲ拂テ遺物
散亡スベシ市カ嘆ジテ國ニテ金石類ノ
銘拓本家アルヲキリ聽レ云又國奈良墓
法ノ考ノ銅器田[illegible]一巻世蕃手寫ノモノヲモ
譲ラレト云世蕃地下ニテモ一アリ墓ト十リ蕃
廿四日ヨトニ先日見遣シタル物ヲ見ルト絵ハ
中ニカノ国性寺書簡宮ニ納タルヲ又傳教大
師求法目録ニ宗人分寺存在イリアリ又先年
言ニ納タリ[illegible]蔵書目一巻備前ヲイヲ

紀人大師ノ真蹟乃鈎上本ノヲヲモ紀久保中ニ
先年宣ニ書ヲ献リシ時印ナキモノハ印ヲオスベキ
カシノ命アリテ其事ヲ脇虚蔵印オシタリトウ又國
奈良御墓法銅器ノ今四天王寺中院ノ蔵トナル
ヲヲ問ヒクリシニ是ハ往年世蕃彼地ノ一佛刹ニカ
ノ銅器アリシヲヒクリシカ宿場ニヒヘ[illegible]国ニノ
本堂一宇剏ニ建立シテ申侍タリサテ其畠ヲ
持帰リシカ其公一女病ニ仆タリ世蕃帰リシ日ニ
[illegible]ヲ折ス世蕃ノ母ヨリ是ヲ全ク高貴ノ人ノ墓札
[illegible]出ル十ハ家ニ置カレ[illegible]ヲ物ノヒイム国テ四

天王寺ニ納ムトフ

○十月廿日風雅集ノ序ヲ作ル此集ハ元信老耄ノ自昭見ル所典司ノ文除ノ如キ元信ハ蓮如ノ子ニ名物ヲイフガユトシ等顔カ馬ノ屏風一双ノ常樹ヤノ数輯多ノ石ニ澤蘭ノ行物澤ヲ神前ヨリ治助大雅ノ墨蹟蕪村ノ山水ヲ特者ル二ヲ共住絶ユトテ山水助ヲリ公劉子所藏ノ大雅ノ反古数葉玉陶モアリ一所ニ得ヲ得ニ勝ヲシカリ兼茅ノ弧伐野ノ話コノ友古トニテ時人傳ニモレタル事実一興ヲ著シ大雅堂傳ヲ作ムトス夜ニ入リ余真ニ京人負心尼浪華人谷子ノ如曲ヲ同ク谷ハ弦尼ハ小弓品目口切雪玉川松竹梅霞ノ巣籠ヲリ杜外梅ハ彩ノ拍子巣ハ鶯ヲノ要領ヲ

イフレモ可不思議心地酔ノ今日ノ會実ニ温古知新トモ可ノ間ナリ（田辺信濃守ノ鉦唐宋飛其声ヲ聞ケリ）

○蕃山改ヲ雞助帖六冊邦須国造碑伊福部墓徒世書傳親筆書翰屏風摸本古図巻二ツ鶴ノ巣ル鉦氏墓札銘碑モアリ助帖尤珍奇ノ十リ世書存生中諸

分コリ書ル摸倣図拓本等ヲ集メタルモ
ノナリ其ノ内三面ハ[illegible]ヨリ降ル
○十月廿三日北ノ高木氏ノ別荘ヲ見ル古ノ上田氏園池
ナリ二町四方ナリ古杉樹〻雜樹蔚〻池ハ浅シ
石多シ石燈籠三十余ノ井十斗リ三ツリ橋中ニ古
屋アリ二ツアル都府楼ノ礎ノ如シ山林ニ入ルカ如シカノ
天嘉ノ塼ハ此ノ又宅ノ邊ニ二ツ古瓦百年上ニ在ルトミエ
主人ノ遊覧モナリ園丁ヲ七人モアリ二日ニ而帰
京セナシ京ニ大家ニ此ノ如ク池ハ不能ト云フ物語
鴨ノ羹ニテ鰻ニテクウ美味無比浪華ニ在トイカ

○廿四日又移園東産ト同ジ幕廿段ヲ仿平彦公
創年来有ル共ヲ見責ヲスモノヲ見ル左ノ如シ
一師賢書歴長元年後醍醐天皇紀野宿法度
一文西元年所写三韓征伐西巻
一法隆寺所在經箱中有ル蔵天二重ニ文字
一山ノ内村御隼人形船氏墓徒武蔵鉄塔銘
一貴明梵文佛書一冊 作年五年
一細徒若若水尺牘
一天西十六年古文書
一狩門城跡所出馬破片

一天正時代ノ造人形
一藤村書翰 並深書翰
一御朋八幡宮図
一貝類数々
一永禄元度長十六ノ名書
一貝原蕉義南海芳列 鳩巣白石作書
南部大宰西山公ノ書 陵 ノ大ナリ
一三人トノ往復書翰 安永天明時代名家
数多アリテ記スルニ不堪
廿六首 角ノ廿三 居ヲ見ル 廣岡ト共ニ ヲリ 廿三 既ガ師

直由良卿勅幸 右勅ナリ 吉大郎 陽光南枝
佐ハ落ルト雖 佳ナリ 中モ 忠臣 講釈 角モ 講釈
一度ニシテ 大ノナルヿ 都會ノ地ニ 淋サレハ 不能 芝
翁ガ 大腹ハ 中ニハ 梅 三 図 三陽 寛 臣図 富士ナ
トカヲ合テ 枝ヲ ユムニ 角テ 只一人 星ト 角 遊ス
リ 蕉ニ 一時ノ 高 傑ナリ
○ サテ 日夕 登船 京師 行ナリ 公事ノ 暇ニハ 遊覧
セシト 欲スリノ ハ 尽ノ 三ニ 出ス

好吉ハ清水寺ト云書物也神号豊鳴所ニ住ス
尾張ノ国ノ
[illegible]ノ見ル
[illegible]フ

日蝕の角

家の角ふき[illegible]と[illegible]

あまるの山のみりのあらう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

適意錄卷二